



令和2年10月21日(水)
愛知県公立大学法人 愛知県立大学
担当
電話
Mail

愛県大 災害弱者対策・支援プロジェクト

「愛県大は災害にどう向き合えるか —5学部からのアプローチ—」を開催

文系・理系・看護の5学部を擁する愛知県立大学(以下「愛県大」)の新たな底力を発信するため、「愛県大 災害弱者対策・支援プロジェクト(※)」の一環として、5学部連携によるシンポジウム「愛県大は災害にどう向き合えるか—5学部からのアプローチ—」を下記のとおり開催します。

5学部で行われている「命の尊厳」についての教育・研究成果を発信し、災害弱者(乳幼児、高齢者、傷病者、障害者、外国人など)に対して、各学部が独自の視点で何を考え、何ができるのか、ということに参加者とともに考える機会にしたいと考えています。

是非、貴社にてご取材いただきますようお願い申し上げます。

※「愛県大 災害弱者対策・支援プロジェクト」:

“「いのち」の学びと探究”という愛県大のビジョンを反映した活動であり、文系・理系・看護を含めた5つの学部から成る本学の特徴を活かし、愛知県の公立大学として、災害弱者やその支援に関わる教育・研究・実践の底力を県民の皆様に発信すると同時に、さらに今後、災害弱者対策・支援に関わる研究・教育・実践の拠点になることを目指すプロジェクトです。

<新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止>

ご取材時はマスクの着用をお願いいたします。また、会場の換気等にもご協力をお願いいたします。

1 日時:

11月1日(日) 9:30 ~ 12:30

2 会場等:

愛知県立大学長久手キャンパス S棟 S201(長久手市茨ヶ廻間 1522番3)

※オンライン(「Zoom」)でも同時に開催します。

3 プログラム: 報告内容の詳細は別紙をご参照ください。

(1) 学部長からの発信 —5学部それぞれの目線から—

- ① 「災いから立ち直る人間社会の力」
外国語学部長 竹中克行(たけなか かつゆき)
- ② 「文化で命と暮らしを救う」
日本文化学部長 大塚英二(おおつか えいじ)
- ③ 「災害弱者に寄り添う専門職を育てる」
教育福祉学部長 山本理絵(やまもと りえ)
- ④ 「災害時に生命(いのち)を守る、生活(暮らし)を支える」
看護学部長 柳澤理子(やなぎさわ さとこ)
- ⑤ 「社会を支える情報科学の拡がり」
情報科学部長 神山斉巳(かみやま よしみ)

(2) 特別報告 ―ハイチ地震の経験から―

「自然災害と国際協力」

二石昌人（ふたいし まさと）氏

（元駐ブルキナファソ特命全権大使／元国際緊急援助隊医療チーム団長）

(3) 現場の声 ―住民と接する場から―

住民と接する県内の自治体や団体の職員から、現場における課題や愛県大に対する期待について語っていただきます。

(4) 質疑応答